

令和7年度 地理歴史・公民科「歴史総合」シラバス

単位数	3単位	学科・学年・学級	全科 3年 A組～C組
教科書	歴史総合（実教出版）	副教材等	「歴史総合 演習ノート」（実教出版）

1 学習の到達目標

- ・社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を研究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。
- ・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界オとその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- ・近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時代や年代、」推移、比較、相互の関連や現代とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れ構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- ・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解ういお通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の料等
4	〔歴史の扉〕 近代化への胎動	歴史と私たち 歴史の特質と資料 江戸時代の日本と東アジア秩序の変動 江戸時代の生産・流通と諸改革 幕政改革と東アジア世界	・18世紀のヨーロッパ・東アジア・日本の社会や文化、アジア諸国と欧米諸国との貿易や国際関係に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解する。 ・18世紀のヨーロッパ・東アジア・日本の社会や文化、アジア諸国と欧米諸国との貿易や国際関係に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現する。 ・18世紀のヨーロッパ・東アジア・日本の社会や文化、アジア諸国と欧米諸国との貿易や国際関係の問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善をする。	[知識・技能] 小テスト、定期考査、ノートやワークシートの記述点検、発言等の行動観察など。 [思考・判断・表現] 小テスト、定期考査、ノートやワークシートの記述点検、行動観察など。
5	欧米の市民革命と「西洋の衝撃」	英国産業革命と米独立戦争 仏国革命とウィーン体制 米国の発展と中南米の独立 オスマン帝国と衰退と露国 アヘン戦争の衝撃と日本の開国 江戸幕府の滅亡	・イギリスの産業革命と欧米でおきた市民革命、欧米のアジア進出がもたらした社会の変化に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解する。 ・イギリスの産業革命と欧米でおきた市民革命、欧米のアジア進出がもたらした社会の変化に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現する。 ・イギリスの産業革命と欧米でおきた市民革命、欧米のアジア進出がもたらした社会の変化に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを切り出そうとする。単元の学習を適切に振り返り、学習改善する。	[主体的に学習に取り組む態度] 活動の様子を観察、レポート、口頭発表など。
6	欧米諸国と日本の国民国家形成	英・仏の繁栄と独・伊の統一 明治政府の諸改革 日本のアジア外交と国境問題 自由民権運動と明治憲法	・欧米諸国と日本の国民国家の形成、日本のアジア外交や自由民権運動に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解する。 ・欧米諸国と日本の国民国家の形成、日本のアジア外交や自由民権運動に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現する。 ・欧米諸国と日本の国民国家の形成、日本のアジア外交や自由民権運動に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善をする。	
7	帝国主義の時代	帝国主義の時代へ 朝鮮をめぐる国際関係と日清戦争 日清戦争後の東アジア 日露戦争と東アジアの変動 日本の産業革命	・帝国主義における欧米のアフリカ分割と太平洋分割、日本の産業革命と東アジア進出がもたらした国際関係の変化に関する基本的な知識を複数の史・資料を活用し十分に理解する。 ・帝国主義における欧米のアフリカ分割と太平洋分割、日本の産業革命と東アジア進出がもたらした国際関係の変化に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現する。 ・帝国主義における欧米のアフリカ分割と太平洋分割、日本の産業革命と東アジア進出がもたらした国際関係の変化に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善をする。	
9	第一次世界大戦と大衆社会	第一次世界大戦 ロシア革命とソ連の成立 米騒動とデモクラシー ヴェルサイユ体制とワシントン体制	・第一次世界大戦と国民生活の変化やロシア革命とその影響、戦後のヴェルサイユ体制とワシントン体制・アジアにおける民族運動・日本国内の社会運動に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解する。 ・第一次世界大戦と国民生活の変化やロシア革命とその影響、戦後のヴェルサイユ体制とワシントン体制・アジアにおける民族運動・日本国内の社会運動に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解する。	

1 0 経済危機と第二次世界大戦	アジアの民族運動 第一次世界大戦後の欧米社会 社会運動と普選の実現 世界恐慌と各国の対応 ファシズムの時代 満州事変と軍部の台頭 日中戦争と戦時体制 第二次世界大戦の勃発 第二次世界大戦の終結 国際連合の成立と冷戦 日本の占領と日本国憲法 朝鮮戦争と日本	エルサイユ体制とワシントン体制・アジアにおける民族運動・日本国内の社会運動に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現する。 ・第一次世界大戦と国民生活の変化やロシア革命とその影響、戦後のヴェルサイユ体制とワシントン体制・アジアにおける民族運動・日本国内の社会運動に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善をする。 ・アメリカで起きた世界恐慌がもたらした影響・各国の解決策・イタリア、ドイツのファシズム・日本の中国侵略や戦時体制に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解する。 ・アメリカで起きた世界恐慌がもたらした影響・各国の解決策・イタリア、ドイツのファシズム・日本の中国侵略や戦時体制に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現する。 ・アメリカで起きた世界恐慌がもたらした影響・各国の解決策・イタリア、ドイツのファシズム・日本の中国侵略や戦時体制に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善をする。 ・第二次世界大戦における国際関係の変化、反ファシズムの抵抗運動や戦後新たに設立された国際連合の機能と限界、冷戦のはじまりと連合国による日本の占領に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解する。 ・第二次世界大戦における国際関係の変化、反ファシズムの抵抗運動や戦後新たに設立された国際連合の機能と限界、冷戦のはじまりと連合国による日本の占領に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現する。 ・第二次世界大戦における国際関係の変化、反ファシズムの抵抗運動や戦後新たに設立された国際連合の機能と限界、冷戦のはじまりと連合国による日本の占領に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善をする。 ・第二次世界大戦後の植民地独立、米ソ両陣営の動揺や日本の 55 年体制の確立、アジアとの外交に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解する。 ・第二次世界大戦後の植民地独立、米ソ両陣営の動揺や日本の 55 年体制の確立、アジアとの外交に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現する。 ・第二次世界大戦後の植民地独立、米ソ両陣営の動揺や日本の 55 年体制の確立、アジアとの外交に関する問いにお対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善をする。 ・石油危機や中東情勢、ソ連解体が世界に与えた影響や日本の経済大国化に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解する。 ・石油危機や中東情勢、ソ連解体が世界に与えた影響や日本の経済大国化に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現する。 ・石油危機や中東情勢、ソ連解体が世界に与えた影響や日本の経済大国化に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善をする。	[知識・技能] 小テスト、定期考 査、ノートやワー クシートの記述 点検、発言等の行 動観察など。 [思考・判断・表 現] 小テスト、定期考 査、ノートやワー クシートの記述 点検、発言等の行 動観察など。 [主体的に学習 に取り組む態度] 活動の様子を観 察、レポート、口 頭発表など。
1 1 冷戦と脱植民地化	植民地の独立 米ソ両陣営の動揺 日本の国際社会復帰と高度経 済成長	・冷戦後の世界情勢、9.11 以後の戦争の変化や国際秩序の変化に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解する。 ・冷戦後の世界情勢、9.11 以後の戦争の変化や国際秩序の変化に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現する。 ・冷戦後の世界情勢、9.11 以降の戦争の変化や国際秩序の変化に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善をする。	[知識・技能] 小テスト、定期考 査、ノートやワー クシートの記述 点検、発言等の行 動観察など。 [思考・判断・表 現] 小テスト、定期考 査、ノートやワー クシートの記述 点検、発言等の行
1 2 多極化する世界	石油危機と世界経済 緊張緩和から冷戦の終結へ 日本の経済大国化		
1 2 3	地域紛争と対立 国際秩序の変容		

			動観察など。 〔主体的に学習に取り組む態度〕 活動の様子の観察、レポート、口頭発表など。
--	--	--	--

3 評価の観点

知識・技能	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、基本的な知識を、複数の史・資料を活用し、諸史・資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身につけている。
思考・判断・表現	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目する。概念などを活用して多面的・多角的に考察する。歴史に見られる課題を掌握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現している。
主体的に学習に取り組む態度	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を追求する。解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚を深める。我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。単元の学習を適切に振り返り、学習改善をしている。

4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の三観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ

ルールを守って授業に参加することが重要である。これから社会の一員として生活していくために、世の中の状況を的確に掌握し、判断することができる知識・技能や、よりよい生活を目指す意欲を身につけられるようにしよう。
